

2015年10月6日

京王アカデミー プログラム

講演会「調和する日本建築～高尾山口駅～」を 12月1日（火）に開催します！

建築家・隈 研吾氏と、「Casa BRUTUS」編集長・松原 亨氏が対談

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、会長兼社長：永田 正）では、沿線での学びの機会を提案する「京王アカデミープログラム」の一環として、12月1日（火）に講演会「調和する日本建築～高尾山口駅～」を京王プラザホテル（新宿）で開催します。

「京王アカデミープログラム」では、幅広い世代のお客様に向けて、京王沿線地域の多様で豊かな文化資産を活用し、沿線の大学・団体などとの連携による「文化」（歴史・文学・音楽・美術・自然・科学など）・「教育」・「子育て」に関する『学びプログラム』を提供しています。今回は、文化に関する学びプログラムとして、「調和する日本建築～高尾山口駅～」をテーマに、建築家・隈 研吾氏と雑誌「Casa BRUTUS」（株式会社マガジンハウス）編集長・松原 亨氏による対談形式の講演会を開催します。

京王線高尾山口駅舎のデザインを手掛けた建築家・隈 研吾氏は、歌舞伎座やサントリー美術館、根津美術館などを手掛けた日本を代表する建築家です。また、松原 亨氏は、雑誌「Casa BRUTUS」で「心地よい暮らしのデザイン」を発信する編集長です。隈 研吾氏の建築デザインコンセプトである「環境と建築の一体化」「呼吸する建築」を表現し、2015年4月にリニューアルした高尾山口駅舎をはじめとする「日本建築」の世界を二人の講師とともに学びます。さらに、京王沿線に息づく日本文化の魅力に迫ります。

詳細は以下の通りです。



《建築家・隈 研吾氏》



《「Casa BRUTUS」編集長・松原 亨氏》

記

1. 名 称 京王アカデミープログラム
講演会「調和する日本建築～高尾山口駅～」
2. 講 師 建築家・隈 研吾氏、「Casa BRUTUS」編集長・松原 亨氏
3. 会 場 京王プラザホテル（新宿） 南館 5階「エミネンスホール」
4. 開催日時 2015年12月1日（火）10:00～11:45
5. 定 員 600名（お申込み数が定員を超えた場合は抽選）
6. 参加費 お一人様 1,000円（税込）
7. 内 容 「調和する日本建築～高尾山口駅～」をテーマとした、隈 研吾氏と松原 亨氏による対談形式の講演会。隈 研吾氏の建築デザインコンセプトである「環境と建築の一体化」「呼吸する建築」を表現し、2015年4月にリニューアルした京王線高尾山口駅舎を一例に、「日本建築」の世界を二人の講師とともに学んでいきます。さらに、京王沿線に息づく日本文化の魅力に迫ります。
8. 申込期間 [WEBサイト] 10月15日（木）11:00～11月17日（火）17:00
[ハガキ] 10月15日（木）～11月17日（火）必着

9. 申込方法

[WEBサイト]

京王ホームページ 京王アカデミープログラム (<http://www.keio.co.jp/keioacademy/>) の応募フォームからお申込みください。

[ハガキ]

官製ハガキに参加される方全員（ハガキ1枚につき2名様まで）の郵便番号、住所、氏名（フリガナ）、年齢、電話番号を明記のうえ、以下の宛先までお送りください。

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-7-3 NKビル

「京王アカデミープログラム」係

※WEB上の応募フォーム1通またはハガキ1枚につき、最大2名様までお申し込み可能

※当選の方のみ、11月24日（火）頃までにお申込み代表の方へ当選ハガキをお送りします（WEB、ハガキのお申込みともに）

※参加費（お一人様1,000円）は、開催当日受付にてお支払いいただきます

※お申込みいただいたお客様の個人情報は、当選通知および当イベントに関する事務以外の目的で使用することはありません

10. お客様の 京王電鉄 広報部 京王アカデミープログラム担当
問合せ先 TEL. 042-337-3250 (平日 10時～18時)

※中止または内容を変更させていただく場合がございます。

以 上

【参考①】講師 略歴

建築家

隈 研吾（くま けんご）氏

1954年横浜生まれ。1979年東京大学大学院工学部建築学科修了。

コロンビア大学客員研究員を経て、2001年から慶應義塾大学教授。2009年から東京大学教授。

1997年「森舞台／登米町伝統芸能伝承館」で日本建築学会賞受賞、同年「水／ガラス」でアメリカ建築家協会ベネディクタス賞受賞。

2002年「那珂川町馬頭広重美術館」をはじめとする木の建築でフィンランドからスピリット・オブ・ネイチャー 国際木の建築賞受賞。

2010年「根津美術館」で毎日芸術賞受賞。

著書に「自然な建築」（岩波新書）「負ける建築」（岩波書店）「新・都市論 TOKYO」（集英社新書）がある。

「Casa BRUTUS（カーサブルータス）」編集部編集長

松原 亨（まつばら こう）氏

1967年東京生まれ。1991年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業、マガジンハウス入社。男性ファッション誌『POPEYE（ポパイ）』の編集に携わり、ファッション、音楽、インテリアなどを担当。

2000年より月刊『Casa BRUTUS』創刊に参加。「ケーススタディハウス」「イサム・ノグチ」「そろそろインドに呼ばれていませんか?!」「建築家が教える環境の授業」「アップルは何をデザインしたのか」など、幅広いテーマの特集を編集者として担当。

2012年同編集部編集長に就任。

【参考②】高尾山口駅舎について

高尾山の玄関口である京王線高尾山口駅のリニューアル工事が2015年4月24日（金）に完成しました。新しい高尾山口駅は、日本を代表する建築家の隈 研吾氏のデザインにより、来訪されるお客様の印象に残る「高尾山の玄関口としてふさわしい“自然と調和し、和を感じる”“わくわくする”雰囲気をもった」駅舎へと生まれ変わりました。

また、LED照明の採用やお客様のニーズの高い清潔感あふれる節水型トイレの増設など環境に配慮した駅舎となっています。



《新しく生まれ変わった京王線高尾山口駅》